

生きた歴史を学ぼう

渡辺ひろしの

いじん  
仙台偉人講座



第一回 林子平



- 日時 10月7日(火)夜7時~8時半
- 会場 太白区中央市民センター・中会議室  
(長町駅 たいはっくる内)
- 講師 渡辺ひろし氏
- 会費 300円
- 主催 宮城ビジョンの会・太白支部  
連絡先 022(243)2247
- 後援 仙台市教育委員会

講師 渡辺ひろし氏プロフィール

- 昭和51年生まれ仙台育ち
- 仙台一高卒業(47回生・応援団副団長)
- 早稲田大学法学部卒業
- 防衛大学校大学院修了
- 外資系コンサルティング会社・外資系保険会社・防衛省防衛大学校特別研究員を経て「歴史復興会議」代表
- 総合危機管理士、防災士

講師 渡辺ひろしさんに聞きました。

質問1: 渡辺さんと歴史との出会いは?

ひろし氏: そうですね。初めて歴史と出会ったのは幼稚園の年中の頃でした。某社の「まんが日本史」という全20巻くらいのシリーズ本を何度も読んだのが歴史との出会いでした。次に世界史のシリーズを読み、小1の終わり頃には活字の伝記シリーズを読んでいました。また、教員だった父の赴任地の関係で、岩手県南の古戦場などによく連れていってもらったことも、「昔のこと」を想像するのが好きになった理由のひとつかもしれません。

質問2: 中学高校でも歴史好きは続いたのですか?

ひろし氏: やはり歴史好きでしたが、徐々に幕末以降の近代史に関心が移っていきましたね。ただ、受験期にはちょうど大野田遺跡(地下鉄富沢駅周辺)が発掘中で、出土した土偶に夢中でした。ちなみに、高校では「昔好き」が高じて、ポロポロの学生服とマントに高下駄の応援団に三年間所属していました!

写真:大野田遺跡出土の土偶

質問3: 郷土史はどのように勉強されたのですか?

ひろし氏: 20代後半に地元に戻ったときに、ふと(地元のことは実は全然知らないな...)と思い立ったのがきっかけで、太白区図書館とメディアテーク所蔵分はほとんど読みました。



質問4: 大人になってからは、歴史に対してどういう思いをお持ちですか?

ひろし氏: 古(いにしえ)の積み重ねがあって今があるわけです。その蓄積の延長上に、我々がいるわけです。できるだけ先人の立場になりきって当時を「追体験」してみる。そして、先人達がどのような思いで生きてこられたのか、何を後世に託したかったのかを正確に理解して、それを正しく受け取りたいと思っています。

質問5: 最後に「仙台偉人講座」は、どのような講座になりますか?

ひろし氏: まず、地元仙台・宮城の知られざる偉人、一般的に名前は知られていても何をしたのかあまり知られていない偉人について、詳しく紹介します。母校早稲田大学や防衛大学校の研究書庫にあった、戦前の貴重な資料も紹介するつもりです。とにかく、郷土の先人達の熱い思いを、皆様とシェアしたいと思います。この講座を通じて、歴史への興味、郷土愛を一步深めて頂くことが出来たらと思っています。

どうぞお気軽にご参加下さい!